

中高生徒海外派遣研修事業

オーストラリアでの足跡

7月30日から8月5日にかけて、平成16年度の中高生徒海外派遣研修事業が行われました。国際理解教育の一環として、平成5年度から行われているこの事業は今年で11回目、今回を合わせると延べ201人の児童生徒（5年度から8年度までは小学生も参加）が研修に参加しています。今回の派遣先は6回目のオーストラリアで、佐々木団長（厚真中学校教頭）をはじめ中学生16人、高校生2人、引率2人計21人が研修に臨みました。研修の中では、少人数に分かれ日本語がまったく通じない現地のお宅へ2泊3日間のホームステイや、同世代が通う学校へ行きディスカッションなどにより交流を深める学校訪問、自然の大切さを学ぶとともに先住民族の文化に触れる野生のコアラ探索プログラムへの参加など中高校生にとっては希望と不安が交錯した研修だったことと思います。

「小さな外交官」として異国の地を踏み、たくさん現地の人たちと触れあい、気候や風土、歴史や文化、慣習や物の考え方などを肌で実感してきた子どもたちの足跡の一部を紹介します。

（写真撮影／佐々木団長、高安教育委員会学校管理係長ほか）

成田空港内の両替所で日本円をオーストラリアドルにいくらか両替したのかな？



ホームステイについて妙な面持ちで説明を受ける生徒たち。期待と不安が入り交じる。



ホームステイ先のホストファミリーの方々と初対面。「今日から3日間お世話になります」



ホームステイ先での一コマ。英語で通じないとこは身振り手振りでコミュニケーション。



3日間お世話になったホストファミリーの夫婦と記念撮影。すっかり打ち解けた様子。



海外派遣の思い出

山口璃奈さん
（厚真中学校3年）



海外に行くのは生まれて初めてで、何もかもが不安とうれしさで胸がいっぱいの私にとって、この研修事業の中心である「ホームステイ」と「学校訪問」はとても楽しく、色々な事を学びました。

ホームステイでは、ホストファミリーの家族と会うのが楽しみで、会ってみるととても楽しい時間を持つことができ家族の皆さんはとても優しくった。その家族は女の子の子どもが2人いて、買い物に行ったり、ビーチで遊んだり、バーベキューをしたりと本当に色々な思い出がいっぱい残っています。

コンデルパークハイスクールへの学校訪問では、日本の曲を披露したのですが、私は指揮者なので始めはとても緊張しました。しかし、スポーツや話し合いなどで向こうの生徒の皆さんと交流しているうちに次第に打ち解け合うことができました。

私はこの研修で感じた事があります。外国では私の英語がうまく伝わらない事がありました。言葉が通じなくても相手を思いやる心があれば人と人は通じ合う事ができるのではないかと思います。この研修では、色々な人にお世話になり、一生忘れられない思い出と体験ができました。

研修の日程

月日	地名	日程
7 / 30	厚真町発 成田空港発	
7 / 31	シドニー着	到着後シドニー市内見学 夕方からホームステイ
8 / 1	シドニー滞在	終日ホストファミリーと 過ごす
8 / 2	シドニー滞在	コンデルパークハイスク ールを訪問し交流
8 / 3	シドニー発 ブリスベーン着 (ゴールドコースト)	野生のコアラ探索プログ ラムなどへ参加
8 / 4	ゴールドコースト滞在	シーワールド、ドリーム ワールドを見学
8 / 5	ゴールドコースト発 成田空港着 厚真町着	

コンデルパークハイスクールへの学校訪問では、グループに分かれて施設の案内をしてもらいました。



学校訪問の最後には、お世話になったコンデルパークハイスクールの生徒の皆さんと仲良く集合写真。



コアラの自然環境を保護するためユーカリの苗木を植樹。



ブーメランづくりを行う。顔のペインは歓迎のしるしで塗られました。



先住民族アボリジニーの伝統的な踊りを体験。カンガルーを模倣した踊り。



「海外派遣研修事業」を終えて

佐々木浩治 団長
(厚真中学校教頭)

約19時間の移動時間をかけて到着したオーストラリアは冬の季節であるが気温は約20度、過ごしやすい感じがした。

今回の研修のメインは、なんとと言ってもホームステイと現地の学校訪問交流であった。このホームステイでは、2～3人のグループに分かれ、それぞれの家庭で現地の生活に触れ、その違いを体験することであったが、自分たちや日本のことを英語で説明することに苦労していた様であった。

しかしながら、ホームステイ後の子どもたちの顔は晴れやかで、口々からオーストラリア人の温かさや食事が美味しかったことなどが話され、心に残る体験をしたようであった。その後の学校訪問では、約20人の高校生が世話役として、校内案内や美術の授業を一緒にしてくれた。また、体育の授業では現地のスポーツであるクリケットを学んだが、ルールが良くわからず、いつの間にか外に出てバスケットボールに熱中し、日豪の交流試合になってしまった。昼食では高校生が作ってくれたご馳走での野外パーティーとなり、和やかなひとときを過ごすことができた。この交流でも、言葉の壁を感じたが、一生懸命に伝えようとする気持ちと分かり合おうとする気持ちでその距離が縮まり、別れる際にはいつもでも私たちのバスに手を振ってくれた。

今回の体験を通して子どもたちは、数多くの感動とオーストラリアへの理解を深めることができたと思っている。これを契機にさらなる世界に目を向けてくれる人になってくれることを信じ報告としたい。



シドニーのミセス・マッコオリーズ岬で、ここから見るオペラハウスは絶景でした」



真っ青な空と海に真っ白な砂浜が印象的なゴールドコーストを背景にハイポーズ。